令和3年度 第2回 岡山県介護保険制度推進委員会 (令和3年7月 書面開催)

(1)介護サービス評価部会委員の選任について

次のとおり、介護サービス評価部会委員が選任されました。(令和3年7月15日)

(五十音順)

岡山県老人福祉施設協議会 会長	赤島 耕一路
公益社団法人認知症の人と家族の会 岡山県支部 代表	安藤 光徳
一般社団法人日本福祉用具供給協会 岡山県ブロック長	生本 覚
一般社団法人岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長	江田 純子
社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 常務理事	小川 敏朗
一般社団法人岡山県介護支援専門員協会 常務理事	柴田 倫宏
一般社団法人岡山県老人保健施設協会 理事	福嶋 啓祐
公益社団法人岡山県医師会 会長	松山 正春
公立大学法人岡山県立大学保健福祉学部 教授	村社 卓

(2)介護保険事業の施行状況等について

項目等	御意見等	事務局回答
	現状の進行状況から、課題、今後の目標、重点策などがしっかり読み取れる。	-
	今後の大きな課題として、コロナ収束後の社会の動きを予測し重点実施事項の計画・推進の見直し(再考)が必要かを検討する必要があるのではないかと。特に介護予防事業、生活支援事業については、重点実施事項として早急に力強く推進する必要がある。	新型コロナウイルス感染症が収束した後であっても、感染拡大前の生活スタイルへ速やかに戻ることは難しいと考えています。こうした状況も踏まえた上で、介護予防等の取組に、引き続き取り組むたいと考えています。
サービス受給者数の推移、保険給付費の支給状況	介護予防訪問介護、介護予防通所介護は、介護予防・日常生活支援総合事業へ移行している。 サービス受給者数や保険給付費の推移は、総合事業も含めて伸びを確認することが必要ではないかと。 総合事業の費用の推移(可能であれば市町村別)が確認できれば有意義だ。	資料の構成については、今後検討したいと考えています。

(3)介護保険事業支援計画に記載した介護予防等に関する目標に対する自己評価について

項目等	御意見等	事務局回答
介護予防の推進・生活支援の体制整備	介護予防の主要な5事業の自己評価は、ほぼ目標達成できたといえるのか。 令和2年度は、コロナ禍で関係者の苦労は大変だった。	-
介護予防の推進・生活支援の体制整備	これからの少子高齢化の波は、より厳しい状況が予測され、介護予防の主要な5事業は、より役割の大きなものとなる。 特に、通いの場の普及推進と生活支援コーディネーターの養成は、重点的に取り扱っていくべきだ。	介護予防の推進や介護人材不足等への対応のため、通いの場への支援や生活支援コーディネーターの設置が、益々重要になると考えています。このため、県では引き続き、市町村サポートチームによるアウトリーチ支援及び生活支援コーディネーターの研修を推進したいと考えています。

項目等	御意見等	事務局回答
通いの場の普及推進	通いの場は、数ではなく、質(内容)について指導・推進が必要となってくるのではないかと。個人の好みを中心としたサークル活動、憩いの場の推進だ。	住民運営の通いの場については、ほとんどの活動内容が介護予防に資すると考えておりますが、引き続き、魅力のある通いの場づくりに向けて、市町村を支援したいと考えています。
通いの場の普及推進、生活支援コーディネーターの養成	通いの場づくりと生活支援コーディネーターの養成については、市町村や関係団体でも、これまで積極的に取り組んでいる。県は、今後の指導の中で、市町村を通じて関係団体(老人クラブなど)との連携、共同推進を強く指導していくことを期待する。	事業の推進に当たっては、地域の状況に応じて多様な団体等との連携が進むよう、市町村を支援したいと考えています。
住民互助による通所付添活動	住民互助による通所付添活動は、10市町村に広がり、通いの場への参加が困難な人の移動支援として重要な取組だ。高齢者の外出ニーズは買物や通院など多岐にわたり、この事業だけではニーズを満たすことは困難だ。モデル市町村を選定し、県が支援しながら、これらに対応できる住民互助による移動支援活動の仕組みを構築できれば、ニーズを充足でき、更に多くの市町村に広がる。	現在、国において、地域公共交通の活性化とも連携した住民互助による移動支援サービスの普及方策に関する調査検討がなされており、その動向を注視しながら対応を検討したいと考えています。

(4)医療介護総合確保推進法に基づく令和2年度岡山県計画に関する事後評価【介護分】について

項目等	御意見等	事務局回答
	コロナ感染拡大の取束後の社会背景は大きく変化することが予測される。このことを踏まえての計画、推進実施を期待する。	—
医療従事者の確保と資質の向上、介護従事者の確保	医療従事者の確保と資質の向上及び介護従事者の確保についての事後評価は、コロナ禍の影響もあるが、一歩前進がうかがえ評価できる。引き続き推進の強化を期待する。	—
潜在的有資格者等再就業促進事業、認知症介護実践者等養成事業	潜在的有資格者等再就業促進事業及び認知症介護実践者等養成事業などについて、評価できる(一歩前進)。引き続き推進の強化を期待する。	—
訪問看護師による訪問看護等理解促進事業	訪問看護師による訪問看護等理解促進事業は、訪問看護師が学生等に訪問看護の仕事の内容や魅力・やりがいを説明することにより、理解を深めることができた。	—
看護学生の訪問看護ステーション体験事業	看護学生の訪問看護ステーション体験事業は、学生の訪問看護への参入につながっている。	—